

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	湿し水 防腐殺菌剤 PG-1
会社名	光陽化学工業株式会社
住所	大阪市城東区森之宮 2-3-5
担当部門	営業部
電話番号	06-6969-1821
FAX 番号	06-6969-1825
推奨用途及び使用上の制限	湿し水用防腐殺菌剤

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分 4
	急性毒性（経皮）	区分 4
	急性毒性（吸入）	区分 4
	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分 1
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分 1
	皮膚感作性	区分 1
	環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）
水生環境有害性（長期間）		区分 3

*記載がない危険有害性は「分類できない」「分類対象外」または「区分外」である。

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

飲み込むと有害
皮膚に接触すると有害
吸入すると有害
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
水生生物に非常に強い毒性
長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

安全対策

- ・ミストを吸入しないこと。
- ・取扱い後はよく手/眼を洗うこと。
- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・汚染された衣類は作業場から出さないこと。
- ・環境への放出を避けること。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

- ・直ちに医師に連絡すること。特別な処置が必要である（4. 応急措置を参照）。
- ・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

- ・皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに、汚染されたすべての衣類を脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。多量の水と石鹼で洗うこと。汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。
- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
- ・漏出した場合：漏出物を回収すること。

保管

- ・容器を密閉し、涼しく換気のよい場所に施錠して保管すること。

廃棄

- ・内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分名	化学式	CAS 番号	官報公示整理番号	含有量
5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン	C ₄ H ₄ ClNOS	26172-55-4	9-378	1~10%
プロパニジオール誘導體	—	—	—	1~10%
酢酸	C ₂ H ₄ O ₂	64-19-7	2-688	1%未満

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。応急措置の後、医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を速やかに脱ぎ、多量の水と石鹼で皮膚を洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。応急措置の後、医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、多量の水を飲むこと。無理に吐かせず、医師の診断を受ける。
- 応急措置をする者の保護 : 保護具を着用する。
- 医師への情報 : 飲み込んだり、吐くなどした場合に、肺（呼吸器官）に入る危険性。胃穿孔の恐れ。
- 起こりうる症状 : 皮膚へのアレルギー症状、胃腸管の腐食、数時間後にかゆみ、赤み、発疹などの皮膚への症状が起こる恐れがあります。
- 医学的処置 : 傷害のあった皮膚や粘膜は抗ヒスタミン剤や副腎皮質ホルモンで処置してください。薬用カーボンで胃を洗浄してください。眼に入った場合、生理食塩水で完全に眼を洗浄してください。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末消火剤、泡消火剤、炭酸ガス
- 使ってはならない消火剤 : 特になし
- 火災時の措置に関する特有の危険有害性 : 火災によって刺激性もしくは有毒なガスを発生する可能性があるため、消火作業の際はこれらを吸入しないように注意する。
- 特有の消火方法 : 消火作業は可能な限り風上から行う。移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないように適切な処置をする。容器周辺が火災のときは、容器を安全な場所に移動する。移動ができないときは、容器に注水して冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時の措置 : 風下の人を避難させ、漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際は保護具を着用し、飛沫が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないように注意する。
- 環境に対する注意事項 : 廃液が河川等に排出されないように注意する。
- 封じ込め及び浄化方法・機材 : 危険なくできるときは漏洩を止める。
 少量の場合
 乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させ、密閉できる容器に回収する。
 大量の場合
 大量漏出のおそれはない。
- 二次災害の防止策 : 漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 着衣、皮膚、粘膜に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用する。
 局所排気・全体換気 : 適切に局所排気、全体換気を行う。
- 安全取扱い注意事項 : 容器はみだりに転倒させ、衝撃を加え、または加熱する等の乱暴な取扱いをしない。容器から出し入れするときは、こぼれないようにする。
- 接触回避物質 : 「10. 安定性及び反応性」の項 参照
- 衛生対策 : 「2. 危険有害性の要約 注意書き 安全対策」の項 参照
- 保管
- 安全な保管条件 : 直射日光を避け、冷暗所に保管する。風通しをよくし、蒸気が滞留しないようにする。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度・許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度	
		日本産業衛生学会	ACGIH TWA
酢酸	—	10ppm	15ppm (2009年版)

- 設備対策 : 局所排気装置、全体換気装置を設置する。
 取扱い場所の近くに洗身シャワー、手洗い、洗眼設備を設ける。

保護具

- 呼吸器の保護具 : 呼吸用保護マスクを着用する。
- 手の保護具 : ゴム製保護手袋
- 眼の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡
- 皮膚及び身体への保護具 : 状況に応じて保護衣、保護長靴、保護前掛けを着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

- 形状 : 液体
- 色 : 無色～淡黄色
- 臭い : 穏やか
- pH : 3.0～3.5
- 融点・凝固点 : データなし
- 沸点 : 約 100℃
- 引火点 : なし
- 蒸発速度 : データなし
- 自然発火温度 : データなし
- 爆発範囲 : データなし
- 蒸気圧 : データなし
- 蒸気密度 : データなし
- 比重 : 1.12 (20℃:代表値)
- 溶解性 : 水に溶解

オクタノール/水分配係数 (log Pow) : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 通常の実取扱い条件において安定である。
 化学的安定性 : 通常の実取扱い条件において安定である。
 危険有害反応可能性 : 燃焼により、刺激性もしくは有毒なガスを発生する可能性がある。
 避けるべき条件 : 加熱
 混触危険物質 : アルカリ性物質、還元剤、強酸化剤との接触を避ける。
 危険有害な分解生成物 : CO、SO₂、塩素・臭素化合物

11. 有害性情報

成分情報) プロパノジ^oール誘導体

急性毒性 (経口)	: 区分 4	ラット	LD50 : 307mg/kg
急性毒性 (経皮)	: 区分外	ラット	LD50 : 3,500mg/kg
急性毒性 (吸入: 粉じん)	: 区分 2	ラット	LC50 : 0.18mg/L/4H
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 区分 2	ウサギ	皮膚刺激性試験 中等度～重度の刺激性
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性	: 区分 1	ウサギ	10%水溶液 重度の刺激性
生殖細胞変異原性	: 区分外	マウス	in vivo 優性致死試験 陰性
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	: 区分 3	ラット	吸入ばく露 呼吸困難
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	: 区分 2	ラット	経口投与 呼吸困難

*記載がない危険有害性は「分類できない」「分類対象外」または「区分情報なし」である。

12. 環境影響情報

生態毒性 : 混合物の情報
 水生環境有害性 (急性) 区分 1 物質
 残留性・分解性 : 特記する情報なし
 生体蓄積性 : 特記する情報なし
 土壌中の移動性 : 特記する情報なし
 オゾン層への有害性 : 特記する情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。
 処理業者には危険性、有害性を充分告知の上、委託すること。
 汚染容器・包装 : 空容器を廃棄する場合は内容物を完全に除去した後に処分する。
 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

国際規制 国連分類 : クラス 8 (腐食性物質)
 国連番号 : 3265
 品名 : その他の腐食性物質 (有機物) (液体) (酸性のもの)
 容器等級 : III
 MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質
 : 非該当
 国内規制 : 輸送に関する国内法規制に該当するので、各法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。
 輸送の特定の安全対策及び条件 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れのないことを確かめる。転倒、落下、破損のないように積み込み、荷くずれ防止を確実にを行う。
 該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。
 応急処置指針番号 : 153

15. 適用法令

安衛法 危険物	: 非該当
特化則	: 非該当
有機則	: 非該当
表示物質	: 非該当
通知対象物	: 非該当
がん原性指針	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
PRTR 法	: 非該当
消防法	: 非該当
船舶安全法 危規則	: 腐食性物質
航空法 施行規則	: 腐食性物質
海洋汚染防止法 海洋汚染物質	: 該当

16. その他の情報

記載内容の問い合わせ先 : 光陽化学工業株式会社 営業部
電話番号 : 06-6969-1821
FAX 番号 : 06-6969-1825

記載内容は現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価について完全性を保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取り扱いには充分注意して下さい。また、記載事項は当製品についての通常の取扱いを対象としたものであり、それ以外については、ご使用者の責任において安全対策を実施の上、お取り扱い願います。

参考文献 : 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE) 公開データ
JIS Z 7253 : 2012
一般社団法人 日本化学工業協会 「GHS 対応ガイドライン」